

教育目標

【自分づくり】社会に目を開き 「なりたい自分」の姿を描き 実現しようとする人

- 自ら考え、表現できる人（創造）
- 仲間とともに高め合える人（共生）
- 心身ともにたくましい人（健康）

学校だより 第3号

ひ ら く

平成28年 5月11日発行
須賀川市立第三中学校
TEL 73-2377
発行責任者：校長 高崎則行

生徒会活動も、為すことによって学ぶ学習です

生徒会活動は、主に次の3つの力を育成することをねらいとした学習です。

- 1 望ましい人間関係を築く力
- 2 よりよい集団や社会づくりに参画する力
- 3 協力して問題を解決する力

これらの力は、実際の活動を通して高められるため、「為（な）すことによって学ぶ」実践的な学習です。

5月2日（月）に開催された生徒会総会では、「自発的」（自分たちで考えて）、「主体的」（自分たちが担い手となって）、「自治的」（自分たちで解決する）という態度で、一人一人がよりよい学校づくりに参画（さんかく）することの大切さを述べました。

生徒会執行部、各奉仕委員会、それぞれの部活動で、自分たちの目標を達成するために、自分たちで策定（さくてい）した活動計画に沿って、各人が自分の役割と責任を果たし、問題があれば自分たちで話し合って解決していくという、生徒が主役の活動が期待されます。

議事に関する協議の中では、不明な点を質（ただ）したり、改善すべきことを指摘したりと、活発な話し合いがなされました。ここでの話し合いを総会後の活動に生かしていけば、教科の学習にも効果があらわれ、生徒が社会に出たときに必要になる公民としての資質が形成されるものと

考えています。

なお、私の反省点としては、学校・教師に対する質問が多くなり、生徒同士の十分なやり取りを阻害（そがい）した点です（教頭が一生懸命回答していました）。施設設備に関する要望は、生徒会総会でなくても吸い上げ、可能ところは改善していきます。また、生徒会行事に関しては、生徒の意向（いこう）も反映させながら運営していきたいと考えています。

いい写生会になりました

5月6日（金）、牡丹の花の盛りを迎えた牡丹園で、校内写生会を実施してきました。

私は出張もあったため、写生会が終了するころ、生徒たちの様子をのぞいた程度でしたが、最後まで花と向き合い、一生懸命に絵筆を走らせている生徒をたくさん見る事ができました。

ある生徒にアドバイスのつもりで「白や黒を混ぜるとポスターカラーみたいになって透明感が出にくいよ。」と言ったら、隣の子がその

子に「ごめんね」と何度も謝っていました。ピンクの花びらを描くのに、白を混ぜるよう助言したのでしょうか。その純真さが素敵（すてき）だなと思いながら、私のアドバイスが余計だったと反省しました。



牡丹園発祥記念式典に合唱で参加 「さわやか大賞」をあげたい頑張り

たった今、牡丹園発祥250年記念式典から帰ってきました。式典前プログラムで、本校3年3組が「花」「大切なもの」の2曲を歌い、式典に花を添えました。出席者の方から「合唱部ですか？」と声をかけられるくらいに堂々の発表でした。

本校には常設の合唱部はありません。合唱コンクールには特設部として参加しています。特設合唱部の結成前なので、3年3組が代表として参加したのです。ですから、今日の合唱は、普段の音楽の授業の延長です。それを皆さんにご覧いただき、評価していただけたことを本当にうれしく思います。

記念すべき節目の式典に参加でき、生徒たちは、ふるさとに対する誇りを感じ、同時に地域に貢献できたという喜びも味わうことができたようです。全員に「さわやか大賞」をあげたいと思うくらいの頑張りでした。



● ● 各種表彰の記録 ● ●

■第17回県中地区中学生ソフトテニス選手権
中学校女子の部 第3位

■第54回協会杯クラブ対応戦（ソフトテニス）
中学校女子の部 第2位
中学校男子の部 第3位

■第31回岩瀬地区中学校バスケットボール競技
春季大会

男子の部 第2位

女子の部 第3位

■第19回伊勢崎・香カップ2016（バスケットボール）

女子の部 第2位（「あいさつ大賞」も受賞）



ソフトテニス部は、女子が安定した力を発揮し、男子も徐々に頭角（とうかく）を現してきました。バスケットボール部は、男女ともに実力をつけてきています。両方の部とも、もう一つ壁を突破できないかなと期待しています。

なお、伊勢崎・香カップは、群馬県伊勢崎市で行われた大会で、「あいさつ大賞」はあいさつ、マナーが模範（もはん）的なチームに与えられるものです。須賀川三中の名を県外でも大いに高めてくれました。



サッカー一部創部30周年 公式球を寄贈いただきました

2年生の保護者の倉持 哲さんから、サッカー部の創部30周年を祝して公式球5個がサッカー部に寄贈されました。不覚（ふかく）にもサッカー部が創部30周年になることを知らなかったのですが、倉持さんご自身が創部一年目の時のサッカー部員だったそうで、私もその当時西袋中学校でサッカー部の顧問であったことから懐かしい話を聞かせていただきました。

私からサッカー部員にボールを渡すと、部員たちは「勝利を目指して、これまで以上に真剣に練習することが恩返しになる。」と表情を引き締めていました。

本校ホームページでもご覧いただけます。アドレスhttp://www.sukagawa.gr.fks.ed.jp/?page_id=196